

## 地域づくり推進研修「生涯学習推進者実践講座【南信:豊丘村】」

# 「効果的な情報発信の仕方」

自治体、公民館、社会福祉協議会等が実施する事業の目的や内容がしっかりと伝わり、多くの方に参加してもらうためには、どのような情報発信の仕方が効果的なのか、経験豊かな情報誌の編集者から学びました。(受講者数 41名)

### 〈研修内容〉

#### ○講 演・質疑応答

演 題 「効果的な情報発信の仕方」

講 師 株式会社長野こまち編集部  
NIHONNMONO編集総括  
馬場 裕一郎 氏



### 受講者アンケートから

- ありきたりのレイアウトとかの話ではなく、根元的な伝えるべき事を整理するという話だったので、広報のみならず幅広く使える知識であると思った。(一般)
- 思っていた内容とは違うものでしたが、とても勉強になるものでした。これからは全てWeb化、SNSの活用に移行すべきなのかと考えていましたが、やはり紙媒体でしか生かせない特性もあり、大切にしよう一度見直したいと思いました。(公民館職員)
- 今までよくわからずにとりくんできた分野を専門の方のお話をきくことができ、とても参考になりました。キャッチフレーズが大事！誰に伝えるのか、伝えたいのか、戦略が必要。今後は自分がつくっているものを見せ合いコメントをしあうワークショップも有意義でおもしろそうだなと思いました。ありがとうございました。(諸団体)
- 届けたいターゲットを意識した発信を考えてこなかったのが、今後はそういうところも意識してチラシやHPを作成していこうと思います。(公民館職員)
- 同じ物でも情報加工で数倍の宣伝効果があることが分かりました。誰に何を伝えるかを中心に考えて、その対象の方のほしい情報を調べて記事を作っていきたいと思いました。(社会福祉協議会)
- 業務で広報誌やチラシを作成することがあるため勉強になりました。準備段階、取材前から準備することで使う素材や必要な情報がまとまるなど知ることができて良かったです。Q&Aで話されていた内容がすごく活用できそうだと感じました。(社会福祉協議会)